

Ⅲ. 調査概要（文化団体）

- 調査の目的 市内で活動する文化団体の現状や課題、他の分野との連携による文化芸術の発展性や可能性についての意識を把握することを目的とする。

- 調査対象

| 対象者 | 団体数 | 有効回収数 | 有効回答率 | 選定（抽出） |
|------|--------|-------|-------|--|
| 文化団体 | 約170団体 | 87票 | 51.2% | ①八戸市文化協会会員 ②音楽分野の活動団体 ③演劇分野の活動団体 |

- 調査方法 (1) 調査票のQRコードを読み取り、SNSで回答
(2) 同封の返信用封筒に入れ、投函

- 調査時期 令和元年12月

- 調査項目 (1) 活動している団体について
 - ①団体について
 - ②活動の頻度や場所について
 - ③課題について
 - ④情報発信について
- (2) 回答者個人について
 - ①文化芸術への興味・関心について
 - ②文化芸術に関する活動について
 - ③文化芸術事業・施設について
 - ④文化芸術の情報入手について
 - ⑤八戸市の文化芸術について

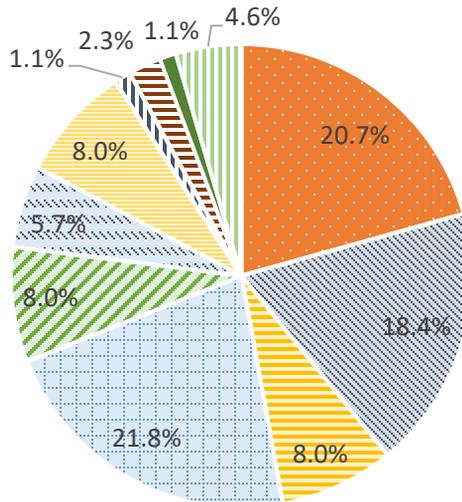
IV 調査結果（文化団体）

IV-1 活動している団体について

1 団体について

【問1-(1)】活動のジャンルをお書きください。

(n=87)

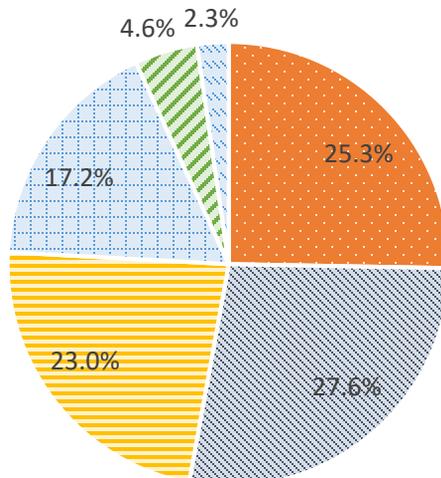


■ 文芸 ※ 舞踊 ■ 舞台芸術 ■ 音楽 ■ 美術 ■ 伝統芸能 ■ 伝統文化 ■ 演芸 ■ 生活文化 ■ その他 ■ 不明

【問1-(2)】会員やメンバー（以下「会員等」）の数について、近い番号に○をしてください。

20人未満での小規模で活動しているとの回答が半数以上であった。わずかではあるが、100人規模で活動するという回答もあった。

(n=87)



■ 10人未満 ■ 10～19人 ■ 20～49人 ■ 50～99人 ■ 100人以上 ■ 不明

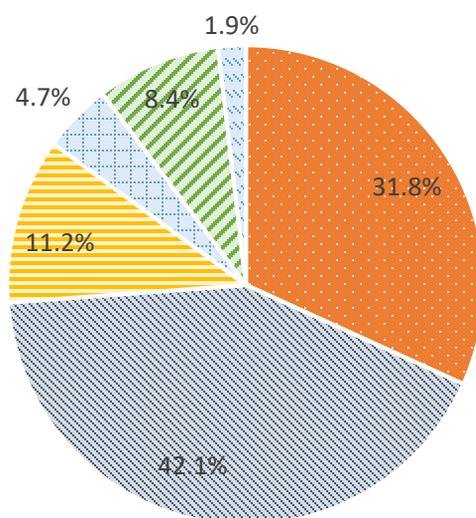
【問1-(3)】活動にあたり、会員等や会費や活動・発表等に伴う負担金（以下「会費等」）についてお聞きします。

①会費等を支払う頻度について、あてはまる記号に○をしてください。

（複数選択可）

調査を行った団体のほとんどが会員等に会費等があるという結果となった。最も多いのは月会費で42.1%。

(n=87)

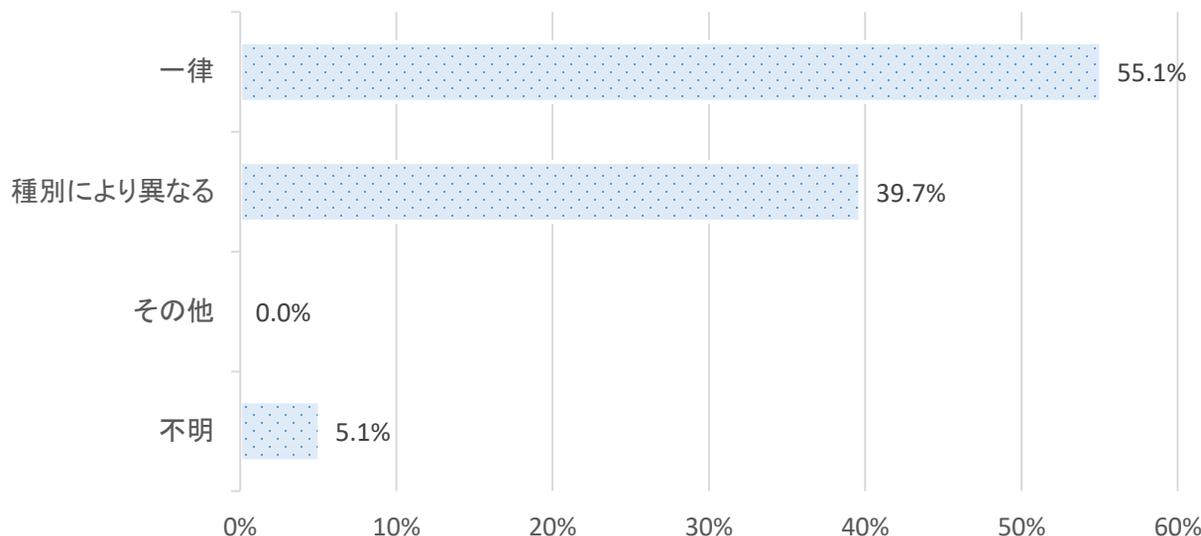


■ 年会費 ■ 月会費 ■ 随時 ■ その他 ■ 会費なし ■ 不明

②会費等の金額（負担額）は、会費等の種別（クラス等）によって異なりますか？

会費等の金額を一律にしているとの回答が約半数の55.1%となり、種別によって異なるという回答したのは39.7%となった。

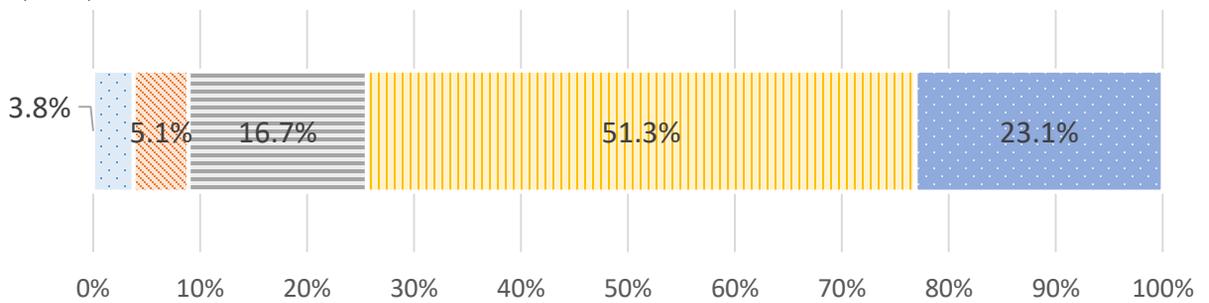
(n=78)



③年間の会費等の総負担額はどの程度でしょうか？

年会費が「1万円以上5万円未満」と回答した人が最も多く、51.3%という結果になっ

た。
(n=78)



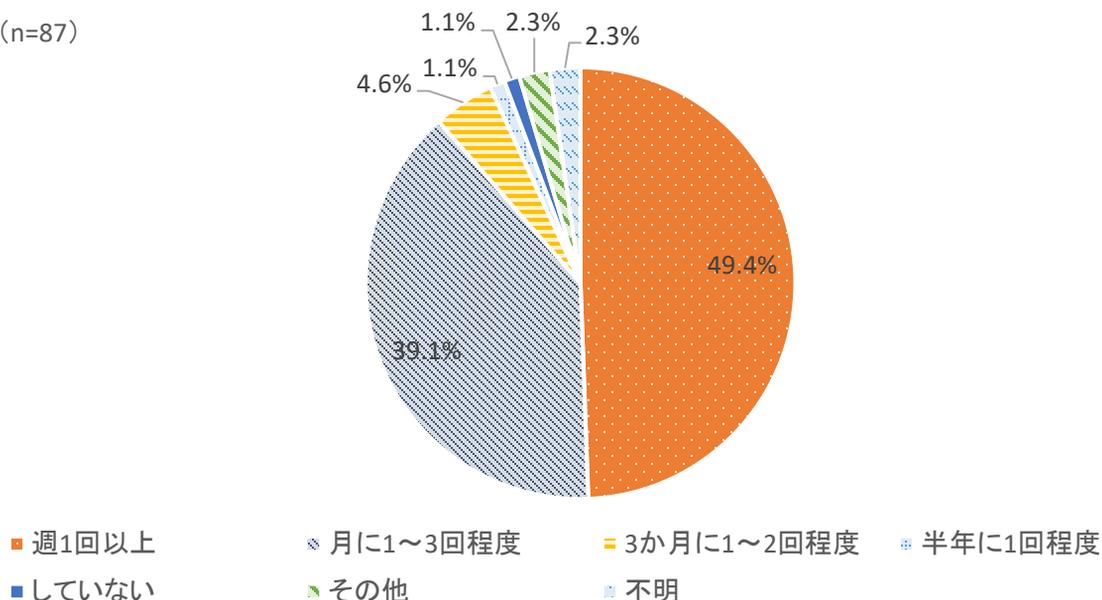
■ 不明 ■ 10万円以上20万円未満 ■ 5万円以上10万円未満 ■ 1万円以上5万円未満 ■ 1万円未満

2 活動の頻度や場所について

【問2-(1)】練習など、会員等のみでの活動の頻度はどの程度でしょうか？

週に1回以上活動するという回答が約半数の49.4%となった。

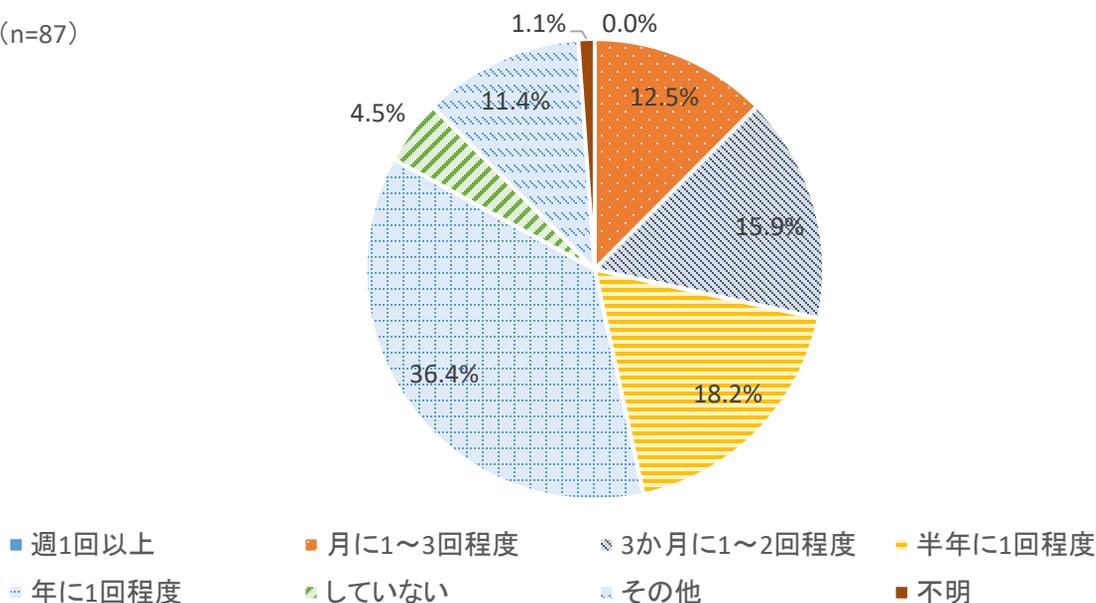
(n=87)



【問2-(2)】発表など、不特定多数の方々へ活動内容を見せる機会の頻度はどの程度でしょうか？

最も多かった回答は年に1回程度の36.4%、次いで半年に1回程度の18.2%であった。定期演奏会など、大きな行事がある音楽関係団体は、練習の期間などもあり発表の頻度はやや少ない回答となった。

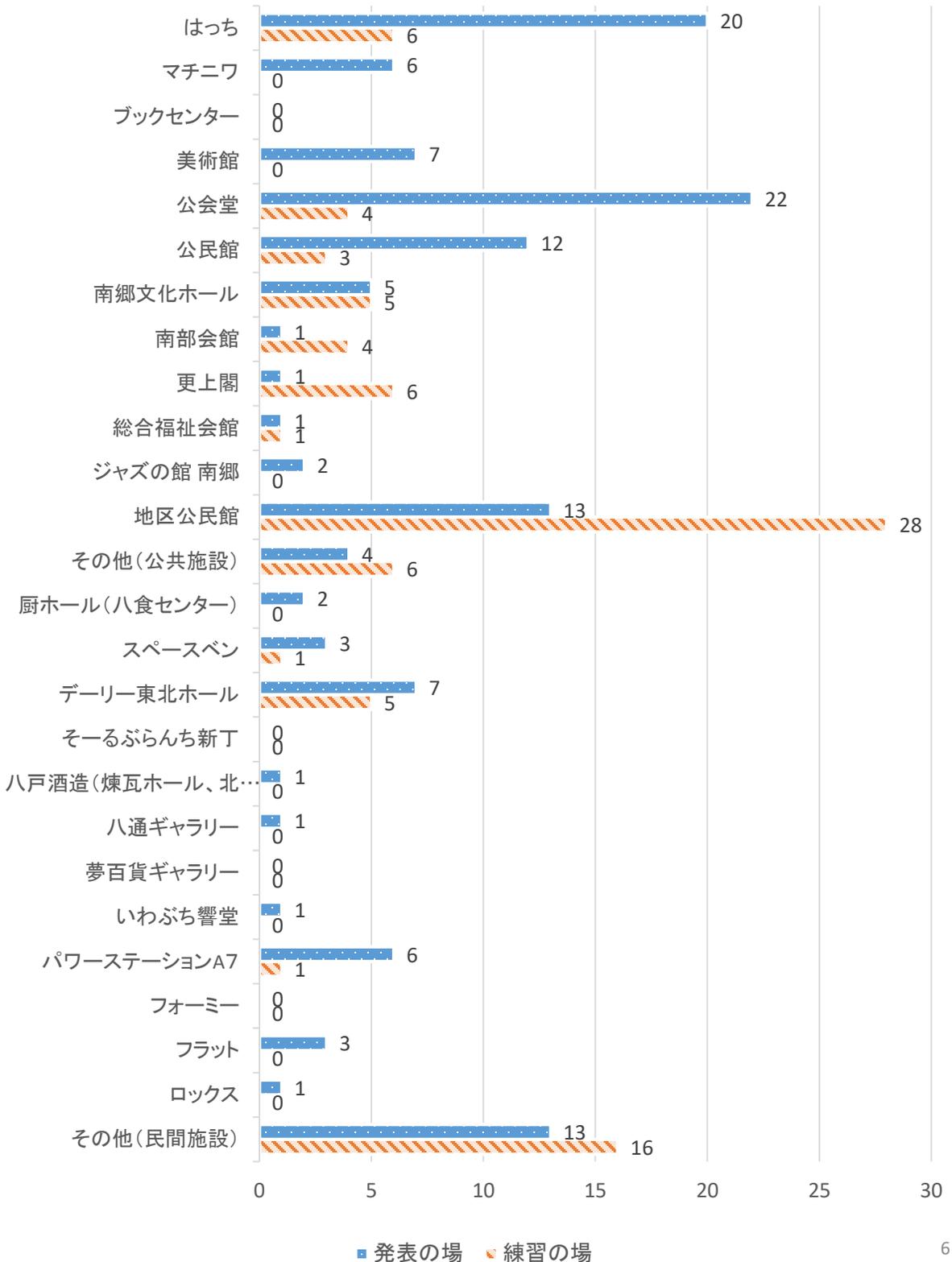
(n=87)



【問2 - (3)】活動場所についてお聞きします。

練習の場として最も多かった回答は「地区公民館」、発表の場として最も多かった回答は「公会堂」、次いで「はっち」となった。施設の認知度や収容人数、アクセスのしやすさが回答に大きな影響を与えていると考える。

(n=87)

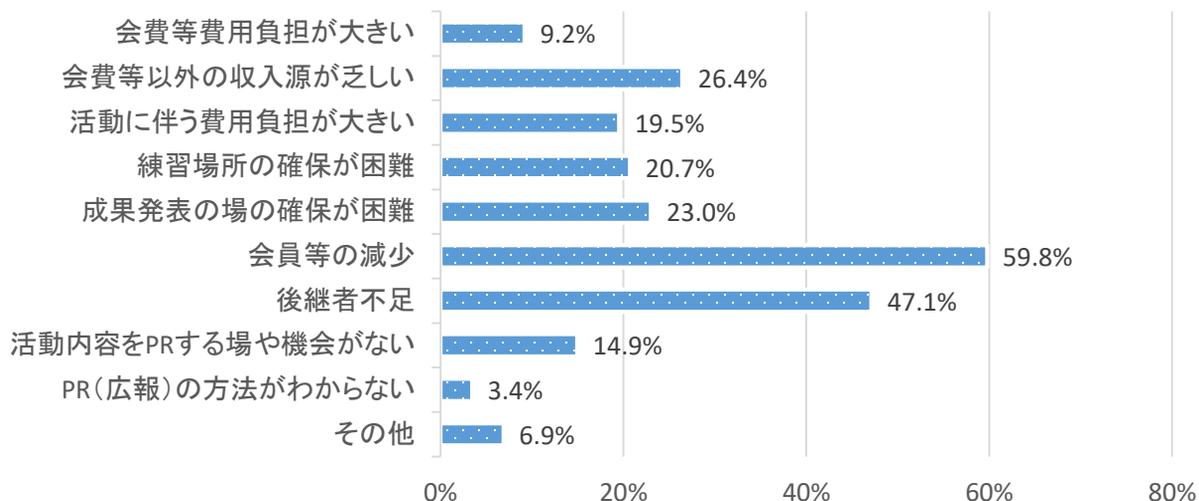


4 情報発信について

【問2-(4)】活動を継続していく上で、課題に感じていることは何ですか？
(複数回答可)

最も多かった回答は「会員等の減少」で60%、次いで「後継者不足」の47%であった。回答の3割を超えるものはどちらも人に関係しており、15%が回答した「活動内容をPRする場や機会がない」との回答とも大きく関係している。

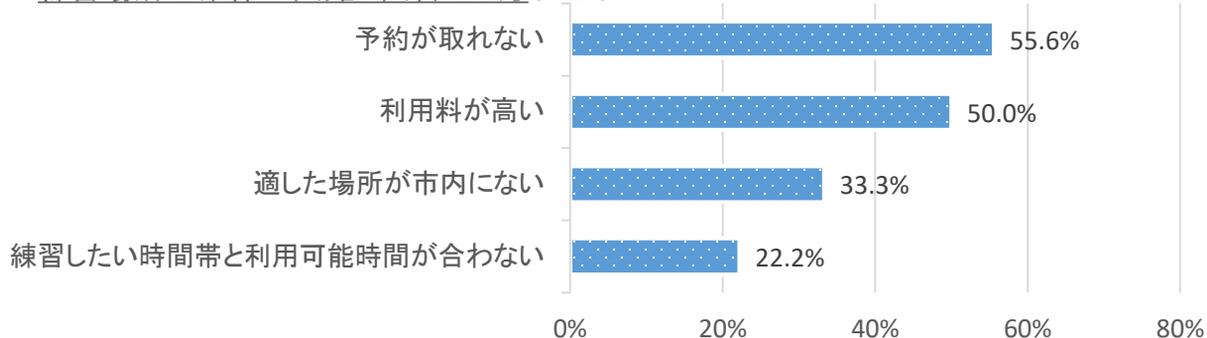
(n=87)



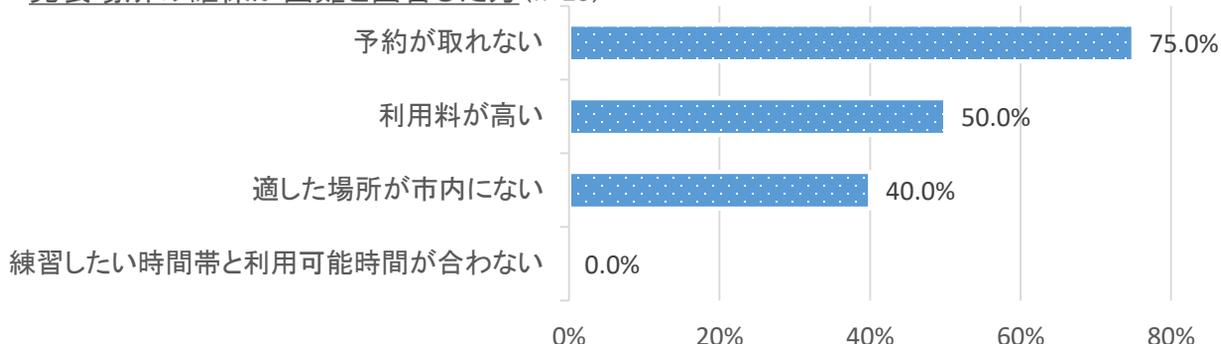
【問2-(5)】(4)で「練習場所」や「成果発表の場」の確保が困難とお答えした方にお聞きします。こんな理由はそれぞれ何でしょうか？

練習場所・発表場所の確保ともに、困難な理由として半数以上が「予約が取れない」「利用料が高い」と回答し、どちらも施設自体に関係する結果となった。

練習場所の確保が困難と回答した方 (n=18)



発表場所の確保が困難と回答した方 (n=20)



【問2 - (6)】 (4) の課題を解決するためにどのような取組、あるいは支援が必要だと思いますか？ (自由記述)

施設の使用料や、駐車場、駐車料金に関する回答が多く見られた。発表に際する補助金を活用する団体も多いため、その面での補助を求める回答はあまり見られなかったが、普段の活動に対する支援に関する回答は見られた。

- ①八戸市内(希望として、類家地区) 当たりに総合的な文化センター (和室も含む) を建設して、駐車場も無料にして欲しい。土・日・祝日は使用料1時間1,000円くらい、平日はその半額、そして、高齢者もバスで行けるようにバス停も玄関口に造る。大型のバスも乗り入れられるようにしてほしい。
- ②発表する場所を増やして欲しいと思う。あるいは、発表するときに使う、花を飾るBOXや平台を貸し出しできるなどがあれば良い。保管場所があれば良いとも思う。
- ③八戸市が誇る三浦哲郎の文学について、後世に継承するための活動である。市教育委員会には協力を得ており感謝しているが、学校 (小・中・高) での三浦文学についての教育に力をいれることで、後世に伝わると思う。また、三浦文学ゆかりの地を巡る企画など観光面につながる活動も必要と思われる。
- ④120名を超える人員の勉強する場 (高齢者を考慮した場所…椅子席、バス等の路線に近い場所 = 中心街、会議用椅子・テーブルが設置されている場所 = 移動の必要がない、冷暖房が整っている場所) の支援が必要である。また、上記の条件がそろった利用料が安い公共施設、予約が取りやすい施設も必要だと思う。
- ⑤毎回又は3か月毎などの申し込み不要等の長期での練習時間が確保しやすい、長期割引などの安価で使用可能な環境の整備が必要だと思う。
- ⑥地区公民館などからの依頼演奏には謝礼をいただいているが、謝礼よりも経費負担のほうが大きく、実際は赤字ということが多。そのため、打楽器購入費用を大きく積み立てたいと思っけていてもなかなかそうはいかない状況にあり、現在は必要なものを学校から借用して対応している。演奏会補助金はあるが、継続的活動に対する支援もあると良い。

- ⑦ほとんどの公共施設の利用時間が夜9時～10時までだが、多くのメンバーが社会人のため、夜7時過ぎまで仕事をしているため、あと1時間（11時）利用できれば余裕をもって練習に臨める。また、近隣住民から苦情が来ないためにも防音設備がある建物が望ましい。ドラムセットやアンプ類のような大きな機材を保管できる練習場があれば良い。
- ⑧市内に楽器倉庫付の音響を考慮した練習場を作ることがオーケストラを育てるために必要である。発表の場として多目的ホールではなく、音楽に特化したホール大小1つずつ必要である。（例：久慈市のアンバーホール、その次にむつ市民会館、二戸市民会館）
- ⑨継承より、いまの芸術を志す人達がやりたいことが自由にやりやすい環境をつくって欲しい。

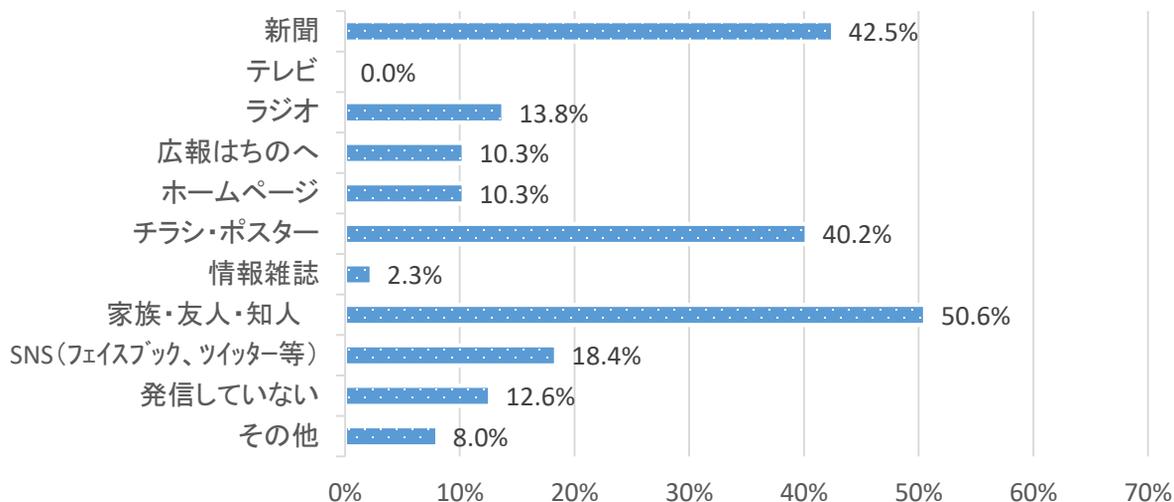
※全31件中、一部要約して抜粋。

4 情報発信について

【問3】 活動や発表のPR（広報）は、どのような媒体を利用して情報発信していますか。（複数選択可）

最も多い回答は「家族、友人、知人」であり、身内からの発信となった。次いで「新聞」「チラシ・ポスター」と紙媒体が続いた。一方、現在、若年層を中心に利用者の多い「SNS（フェイスブック、ツイッター等）」は18.4%とやや低い結果となった。

(n=87)



IV-2 回答者個人について

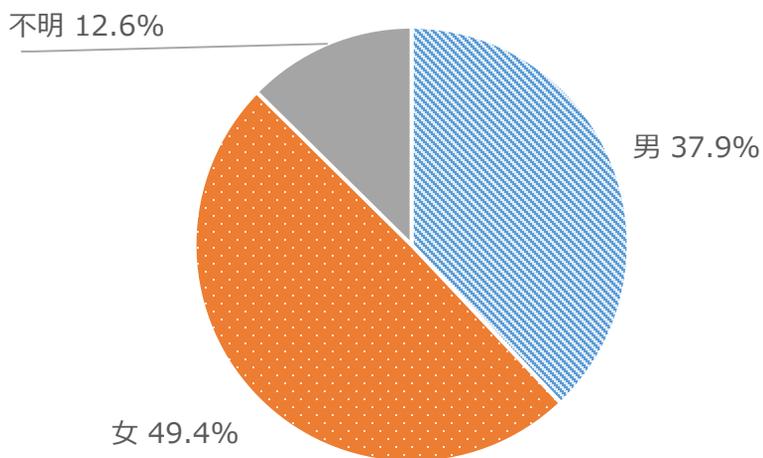
1 基本構成

【問1】あなたについてお聞きします。

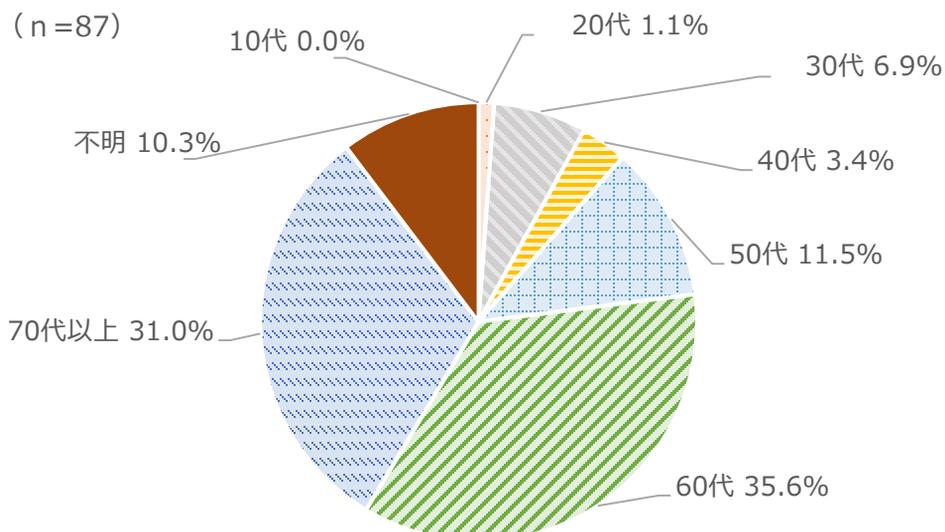
問1- (1) 性別

問1- (2) 年代

男女比 (n=87)



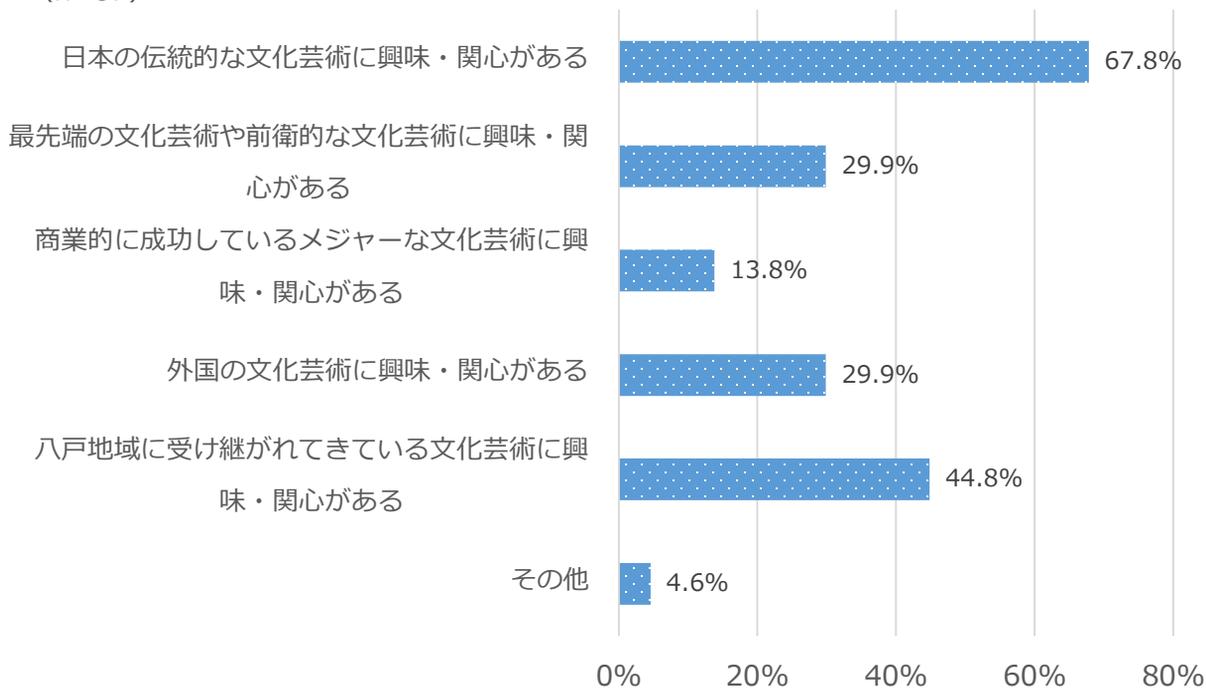
年代別 (n=87)



【問1-(3)】どのような分野の文化芸術に興味・関心がありますか？（複数選択可）

「日本の伝統文化や文化芸術に興味・関心がある」という回答が最も多く、次いで「八戸地域に受け継がれてきている文化芸術に興味・関心がある」という結果になり、地域にあるものに目を向けられていることが分かった。

(n=87)

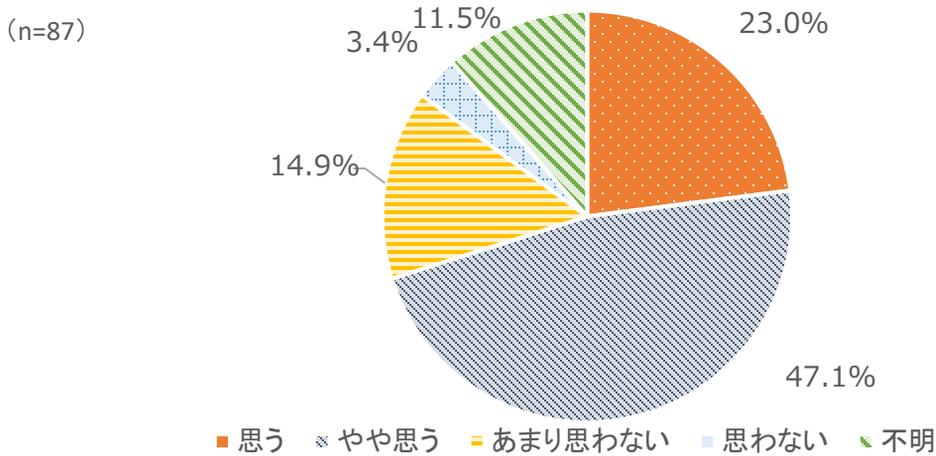


2 文化芸術に関する八戸市のイメージ

(1) 文化芸術に関する八戸市のイメージ

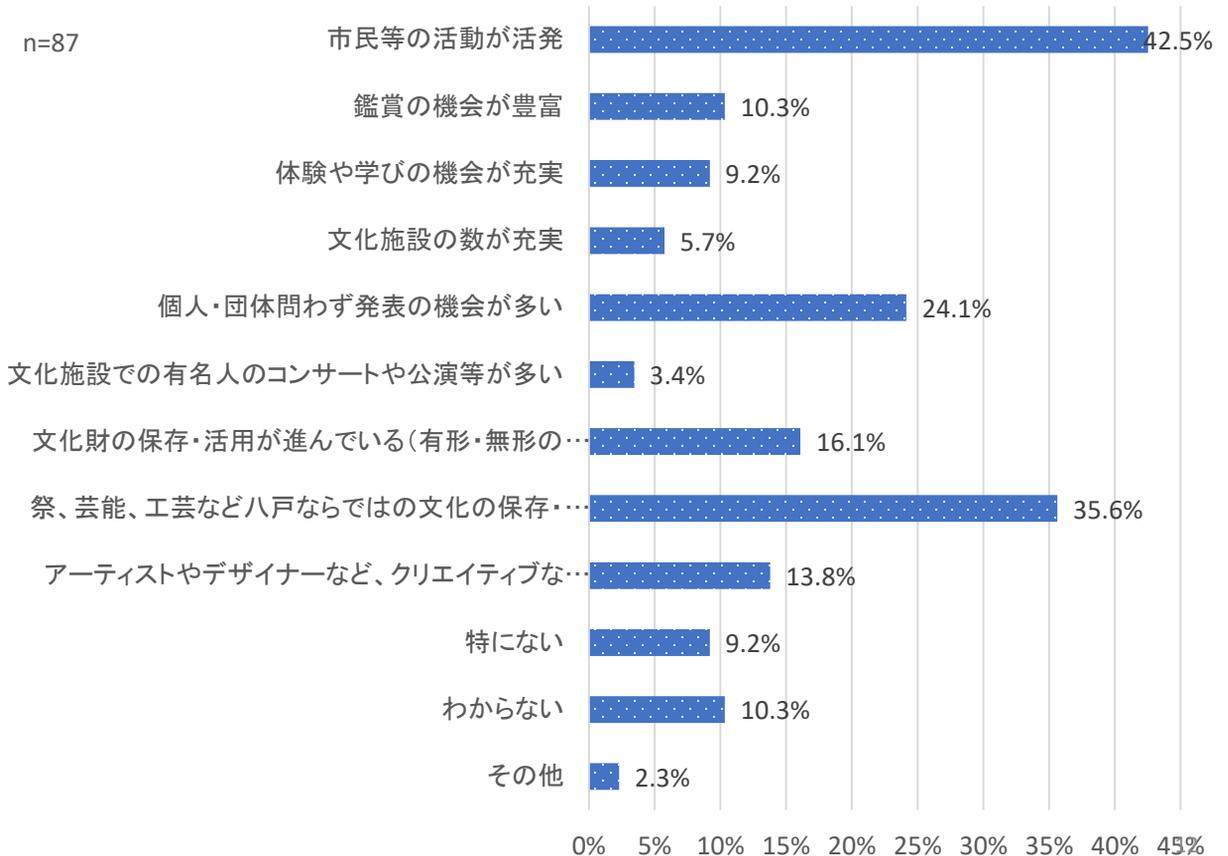
【問2-(1)】文化芸術に関する八戸市のイメージについてお聞きします。八戸市は文化芸術が盛んな街だと思いますか？

「思う」「やや思う」の回答が70.1%となり、市民に対するアンケートと比較して数値が高い結果となった。



【問2-(2)】活動が充実していると思うものに○をつけてください。

「市民等の活動が活発」が42.5%で一番多い結果となった。

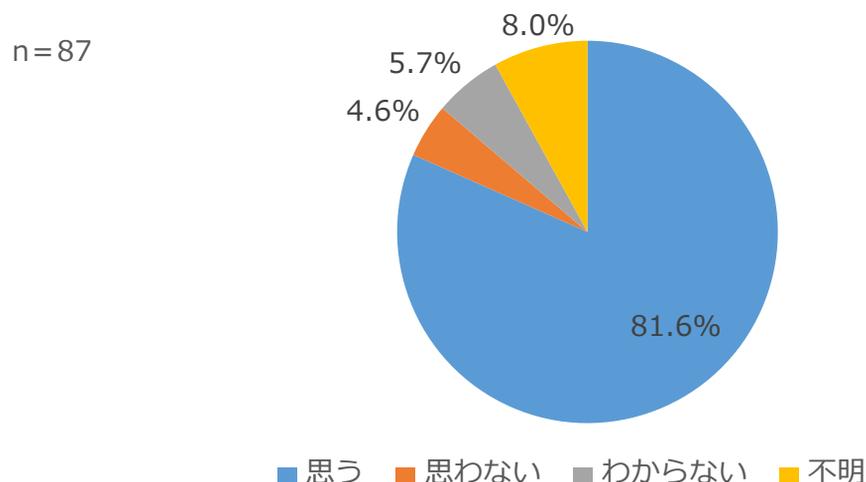


5 八戸市の文化芸術に関して

(1) 文化芸術の充実と魅力的な街の関係性

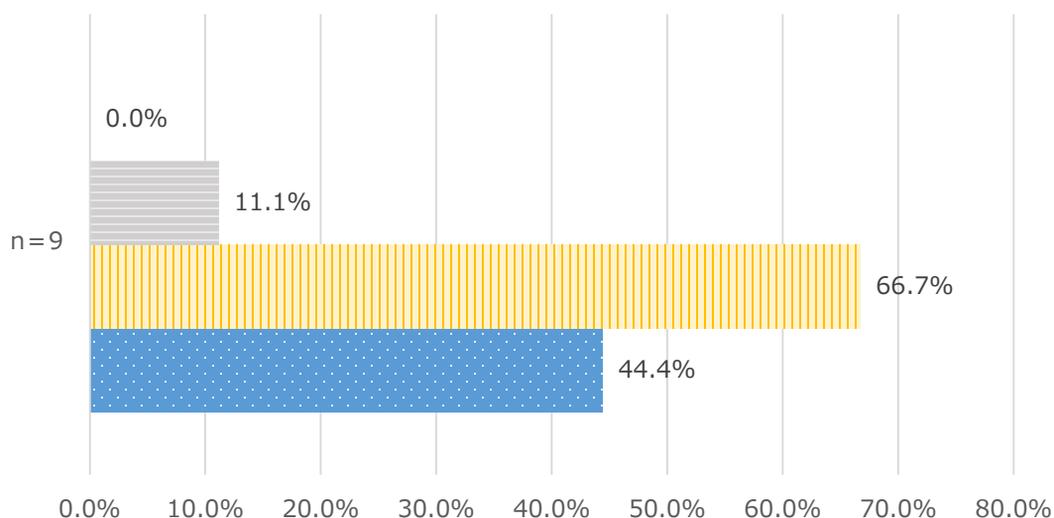
【問3】文化芸術に関する鑑賞や活動の機会が充実することは、暮らしたい街、住み続けたい街等魅力的な街をつくることにつながると感じますか。

全ての世代で、「思う」が最も高い数値となった。



【問4】問3で「思わない」又は「わからない」とお答えした方にお聞きします。そのように考える理由は何でしょうか。

「③文化芸術は個人の好みの問題なので、まちづくりとは関係がないため」が最も高い数値となった。



① 普段、文化芸術に触れる機会がなく、よくわからないため

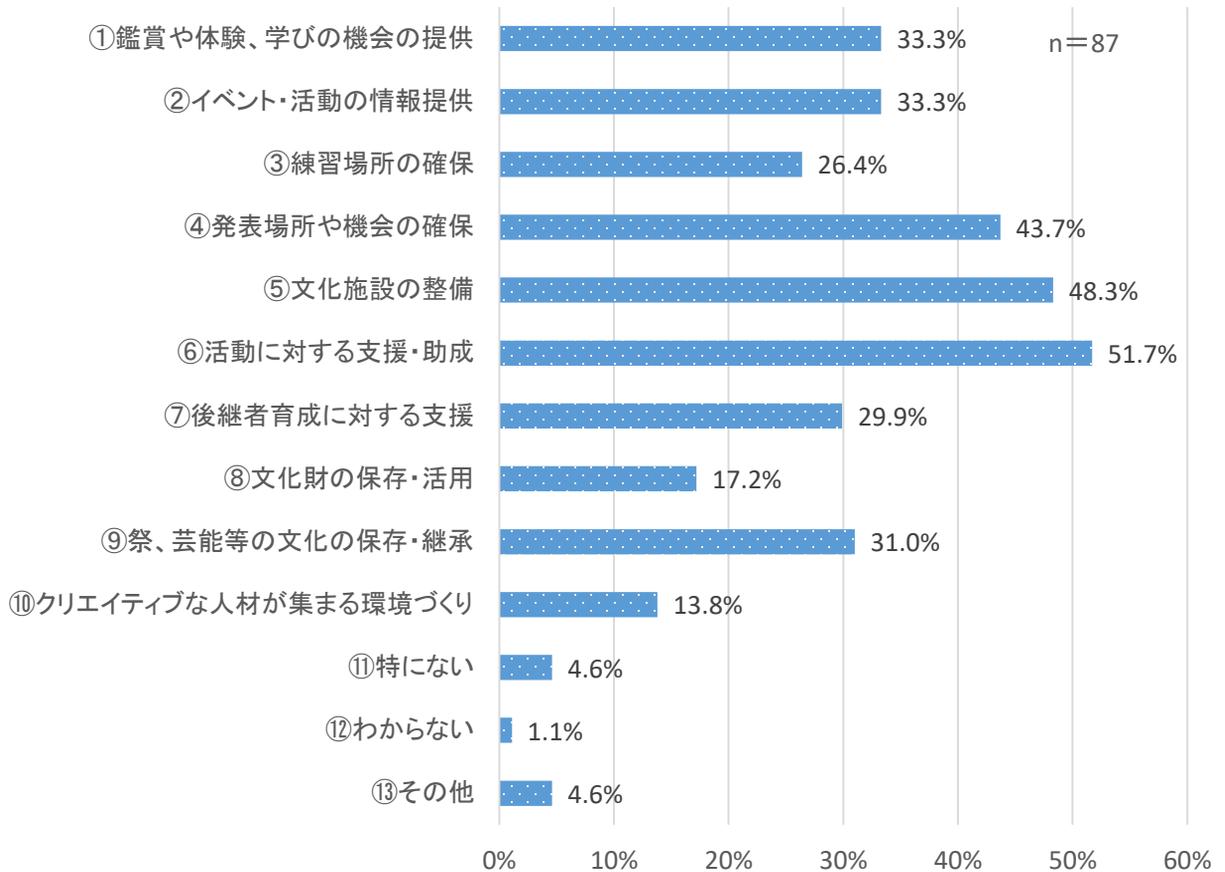
② テレビで見たり、他の都市に行って体験すれば十分なため

③ 文化芸術は個人の好みの問題なので、まちづくりとは関係がないため

(2) 八戸市の文化芸術について

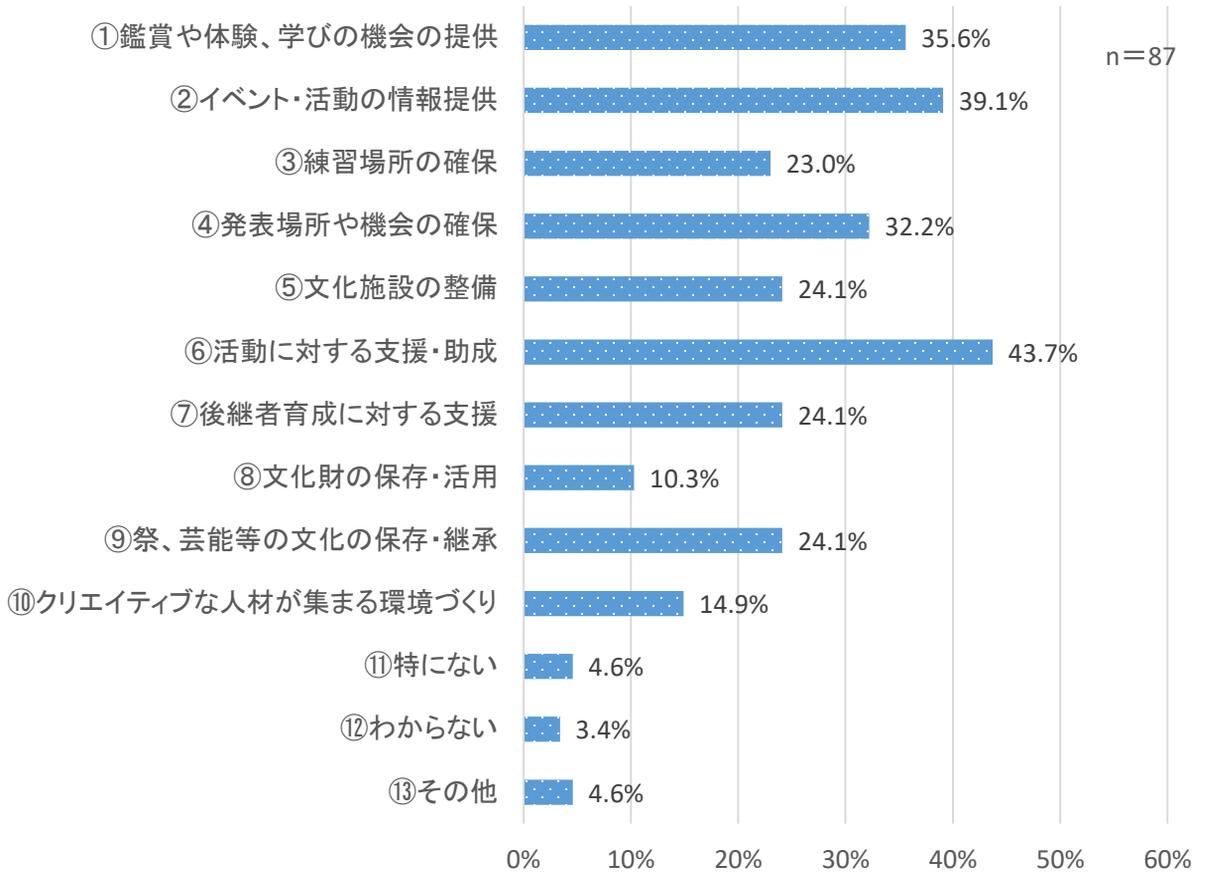
【問5】文化芸術に関して、行政（県や市等）が取り組む必要があると思う番号に○をつけてください。（複数選択可）

「⑥活動に対する支援・助成」が51.7%で最も高く、「⑤文化施設の整備」「④発表場所や機会の確保」が40%を超える結果となった。



【問6】文化芸術に関して、民間（企業、市民団体等）が取り組む必要があると思う番号に○をつけてください。（複数選択可）

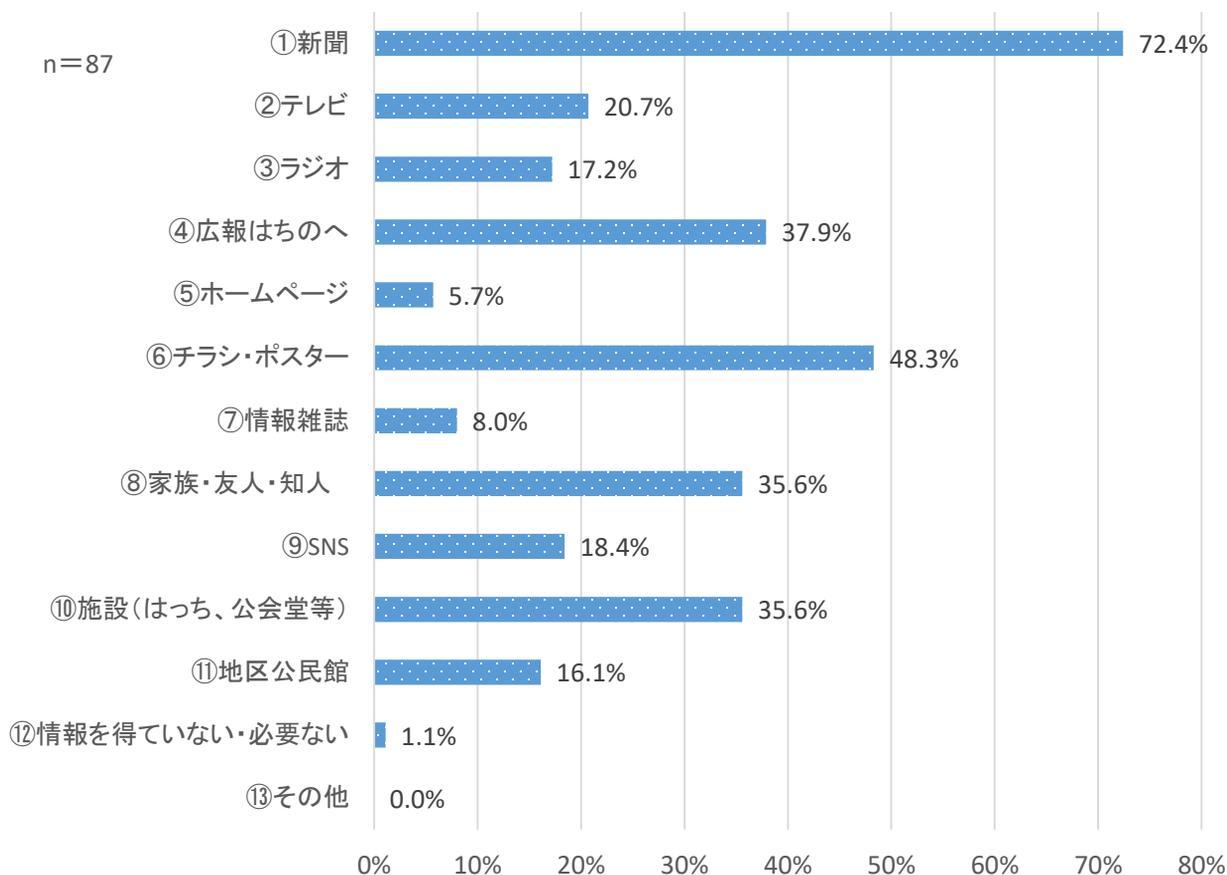
問5と同様に「⑥活動に対する支援・助成」が最も高く、43.7%であった。次いで、「②イベント・活動の情報提供」「①鑑賞や体験、学びの機会の提供」「④発表場所や機会の確保」が30%を超える結果となった。



(3) 文化芸術に関する情報入手について

【問7】 普段、文化芸術に関するイベントや出来事に関する情報はどちらから入手していますか。あてはまる番号に○をつけてください。（複数選択可）

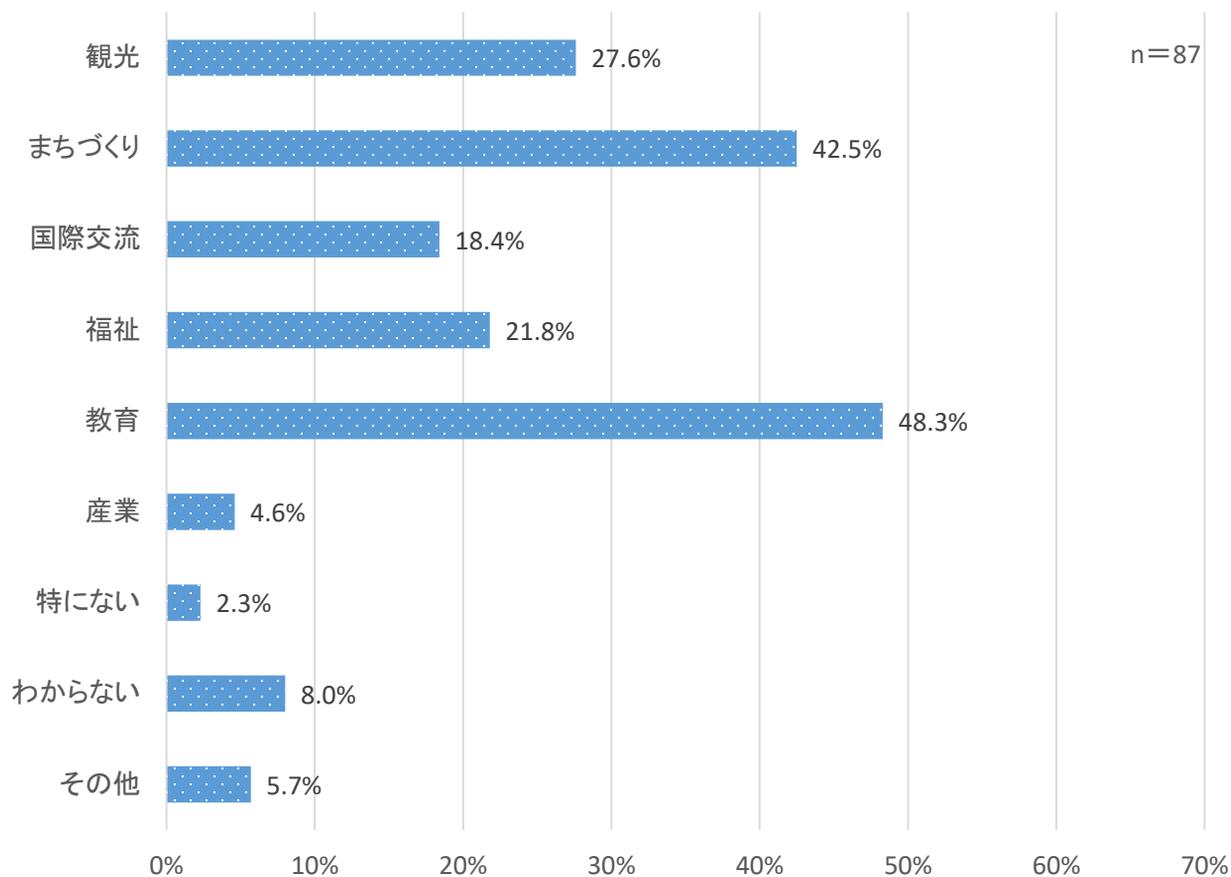
「①新聞」が72.4%で最も高い結果となった。次いで、40%を超えたのは「⑥チラシ・ポスター」、30%を超えたのは「④広報はちのへ」「⑧家族・友人・知人」「⑩施設」となった。



(4) 文化芸術の持つ可能性を活かせる「分野」について

【問8】文化芸術が持つ可能性を活かせる、又は、活かしてほしいと思う「分野」はありますか。（複数選択可）

「教育」「まちづくり」が40%を超える結果となった。

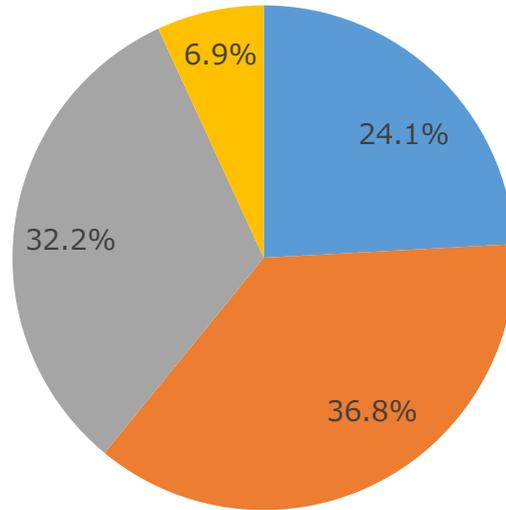


(5) 「多文化都市八戸」について

【問10】 「多文化都市八戸」という言葉を知っていますか。

「知っている」「聞いたことがあるが内容はわからない」が60.9%となった。

n=87



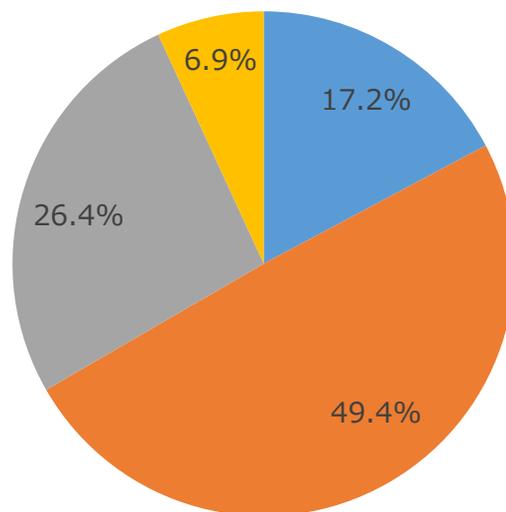
■ 知っている ■ 聞いたことがあるが、内容はわからない ■ 知らない ■ 不明

(6) 「八戸市文化のまちづくりビジョン」について

【問11】 「八戸市文化のまちづくりビジョン」を知っていますか。

「知っている」「聞いたことがあるが内容はわからない」が66.6%となった。

n=87

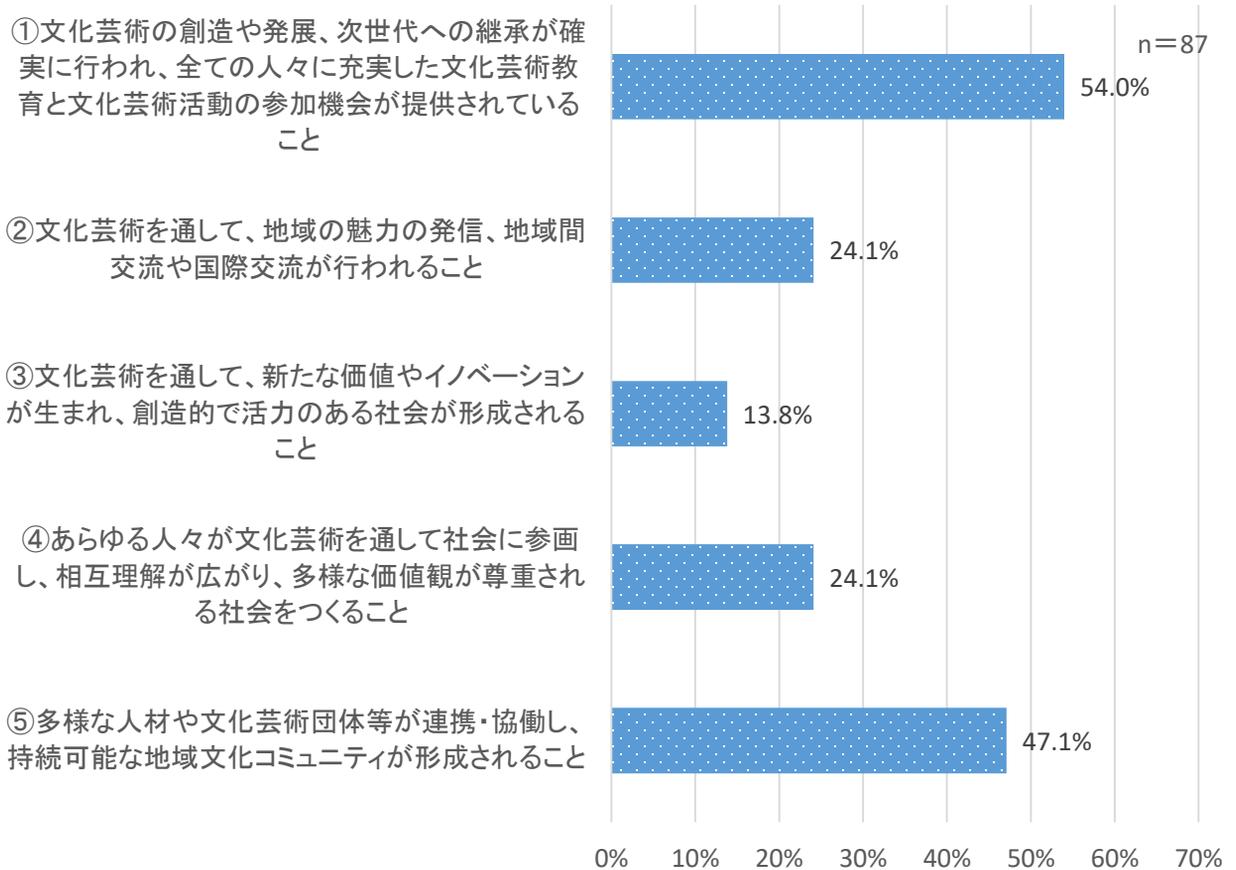


■ 知っている ■ 聞いたことがあるが、内容はわからない ■ 知らない ■ 不明

(7) 八戸市の文化芸術政策の目指すべき姿について

【問11】 今後、八戸市の文化芸術政策の目指すべき姿（方向性）として、特に大切だと思うものを「2つ」まで選択して番号に○をつけてください。

「①文化芸術の創造や発展、次世代への継承が確実に行われ、全ての人々に充実した文化芸術活動と文化芸術活動の参加機会が提供されていること」が最も高い数値となった。



【問12】文化芸術政策に関するご意見・ご要望がありましたら、ご自由にお書きください。

- ◎私は洋舞を教えており、子どもの頃から始める方は良いですが、近頃は共働きのために子どもの送迎ができず、あきらめている人が多い。こどもはっち等で日曜日に教えることができれば子どもが育ち、それを継続していくことができれば多方面に文化芸術が発展していくと思う。年月を費やすことで、急にはできない事なので先を見てやっていくことが必要である。中学、高校になれば自力で練習場所に行けるが、その頃になると学校行事や部活に縛られ、レッスンに来られないのが現実である。(60代・女性)
- ◎地域に受け継がれている芸術、または全ての文化芸術（上質なものも含め）に触れる機会が豊富であることを望んでいる。活力ある、魅力あるまちになってくれたらと思う。(60代・女性)
- ◎職場を引退して、時間はあるけれど何かをやりたいと思う人がたくさんいると思う。しかし、どれも初めてなのでどうしても入っていけない。やはり、子どものうちに少しでも体験していると、入ってみようかなと思うので、学校教育の中で、いろいろな文化に触れさせることは必要ではないか。(70代以上・女性)
- ◎大学生の活動の場がもう少しあってもよいのではないかとも思う。また、昭和20～30年代には職場に文化的なサークルや運動クラブなどがあり、活発に活動していたように記憶している。あの頃の活気を取り戻すにはどうしたらよいのかを考えてみるのもよいのではないか。(70代以上・男性)
- ◎各々が探求している文化芸術を、何年かに一度でも異文化交流イベントやセミナーなどを行い、絵画と短歌、書と俳句、音楽と詩、ダンスと書など、静と動をコラボして、また、各作家同士のコミュニケーションを図り、文化創造の刺激を与えあうなどはどうか。別分野でも追及していくと、深いところに共感しあうものがあり、その発見が素晴らしい新しき一歩を生み出すと思う。(60代・女性)
- ◎文化施設（はっちやブックセンター、公会堂など）はもっと若い人が行きやすい方法を考えることが必要だと思う。例えば若い人、子供連れは車で来ることが多いので、駐車可能な場所や30分無料等考えてほしい。(70代以上・女)
- ◎八戸市は県内で最も音楽活動が活発な地域だと思う。私が八戸に生活・音楽活動の拠点を移したのはその為であり、これからも更に発展するために官民一体となって取り組んでいけたらと思う。(70代以上・男)